

## Leçon 16



Point

ポイントはマーカーでチェックしておきましょう。



Check

チェックのところは、モニターを見ながら書き込みをしましょう。

### Leçon 16 のメニュー

1. 直説法単純未来
  2. 形容詞の性と数 (3) 男性単数第 2 形
- 【自律学習コーナー】
1. 直説法単純未来 (つづき)
  2. 目的語として用いられる代名詞の併用

#### 1. 直説法単純未来

##### 単純未来の活用語尾

まずは活用語尾に注目してください。



Check

danser 「踊る」の単純未来形

je danse	nous danse
tu danse	vous danse
il danse	ils danse
elle danse	elles danse



Point

赤字になっているところが単純未来の活用語尾です。現在形の活用と違って、この活用語尾には例外はひとつもない。

語尾の赤字になっているところをよく見てください！ r をとれば、avoir の現在形の活用とそっくりです。



Check

avoir 「持っている」の現在形

j'	nous av
tu	vous av
il	ils
elle	elles

 **Point**

このように単純未来の活用語尾と avoir の活用は似ています。「単純未来の活用語尾は、nous と vous を除いて、r + avoir の活用形」と覚えておくと、単純未来の活用語尾を忘れたときに役に立ちます。

**確認練習 : L16-1-1 (Exercice 1)**

単純未来の活用語尾についてはすでに見てきました。今度は語幹（変化しない部分）の作り方を見てみましょう。単純未来形の語幹は、その作り方に基づいて、次の3つに分けることができます。

 **Check** 単純未来の活用形の作り方

1) 多くの動詞:

finir → → je


2) ER 規則動詞:

je → je

3) 不規則なもの

être → je

ER 規則動詞以外のたいていの動詞で、単純未来形の語幹は、不定詞の語尾をとって作ります。

 **Check** 1) 多くの動詞: 不定詞の語尾をとって作る。

・不定詞 -ir → +活用語尾

finir → → je

・不定詞 -re, oir → +活用語尾

répondre → → je

devoir → → je

確認練習 : L16-1-2 (Exercice 2)

確認練習 : L16-1-3 (Exercice 3)

確認練習 : L16-1-4

## 用法

単純未来が使われるのは、次のような場合です。



1)

2)

「未来のことを表す」用法から、具体的に見ていきましょう。



**単純未来形の用法 1) 未来のことを表す。**

Il            demain.

訳: 明日は雨が降るだろう。

Dans vingt ans, j'            trente ans.

訳: 20年後に、私は30歳になるでしょう。

J            à la montagne cet été.

訳: この夏は山へ行くつもりです。

Quand Mathieu            grand, il            pompier.

訳: マチューは大きくなったら、消防士になるつもりです。



**2) 命令, 依頼, 誘いを表す。**

Tu me            .

訳: 電話するんだよ (電話ちょうだい) !

Tu me                    ta réponse définitive d'ici trois jours.

訳: 3日後に最終的な返事をくれるかな。

Tu                    avec moi à la réunion.

訳: 集まりに僕といっしょに来るよね。

### 用法: 単純未来と近接未来

Leçon 9 でやった「aller + 不定詞」の近接未来形, 覚えていますか? 単純未来形とどのように使い分けるのでしょうか。まずは, 近接未来形の用法を復習しておきましょう。

1) すぐに実行されること (ごく近い未来に実現されること) として表現したいとき

Tu ne comprends pas? Alors, **je vais t'expliquer.**

わからないの? じゃあ, 説明するよ。

Attention à la marche! **Tu vas tomber.**

段差に気をつけて! 転ぶよ。

**Il va être 4 heures.**

4時になるところです。

2) 現在の状況から判断して, 実現される可能性が高いこと (確かな未来) として表現したいとき

**On va se marier** dans un an.

私たちは1年後に結婚します。



### 単純未来と近接未来, どっちを使うか?

a) 現在の状況から判断して, 実現される可能性が高いこと (確かな未来) として表現したいとき→

Je vais avoir un enfant. (来年) 子供が生まれます。

Il va pleuvoir. 雨が降ります。

b) 現在の状況と関係なく、将来実現される可能性があることとして表現したいとき→

J'aurai un enfant. (いつか) 子供を産むでしょう。

Il pleuvera demain. 明日は雨が降るだろう。

c) 自然のなりゆきで実現されることとして表現したいとき→

J'aurai 50 ans l'année prochaine. 来年50歳になります。

## 2. 形容詞の性と数 (3) 男性単数第2形

### 男性単数第2形



二つの男性単数形を持つ形容詞があります。次の形容詞については、母音字または無音の h ではじまる単数の男性名詞の前では「男性単数第2形」と呼ばれる形を使うのです。



### 男性単数第2形

男性形	男性単数第2形	女性形	例
beau		belle	un homme 美男子
nouveau		nouvel	un élève 新入生
vieux		vieille	un ami 旧友

いつ男性単数第2形を用いるのかももう一度順を追って見てみましょう。条件が3つあります。次の例では、vieil が男性単数第2形です。



ステップ 1:

un vieil (男性名詞)	une vieille (女性名詞)
-----------------	--------------------



ステップ 2:

un vieil (単数名詞)	des vieux (複数名詞)
-----------------	------------------



ステップ 3:

un vieil (母音字)	un vieux (子音字)
un vieil (無音の h)	un vieux (有音の h)

先生、質問！

無音の h ってなんですか？

h には「無音の h」と「有音の h」の2種類があります。いずれの h も実際には発音しませんが、「無音の h」で始まる単語は母音字で始まる単語と同じように扱います。それに対して、「有音の h」で始まる単語は子音字で始まる単語と同じように扱います。ですから、無音の h の前の単語はリエゾン、エリズィオンをしますが、有音の h の前の単語はリエゾンもエリズィオンもしません

	無音の h	有音の h
リエゾン	les hommes (人間) レゾム	les héros (英雄) レ エロ
エリズィオン	l'homme ロム	le héro ル エロ

確認練習 : L16-2-1 (Exercice 4)

最後に、次の形容詞の男性形、男性単数第 2 形、女性形をもう一度発音して覚えてしまいましょう。男性単数第 2 形の発音と女性形の発音は同じです。



男性形	男性単数第2形	女性形	例
beau		belle	un homme 美男子
nouveau		nouvel	un élève 新入生
vieux		vieille	un ami 旧友

確認練習 : L16-2-2

### 自律学習コーナー

#### 1. 直説法単純未来（つづき）

##### 単純未来の活用形の作り方（2）

単純未来形の語幹の作り方について、もう一度確認しておきましょう。

1) 多くの動詞: 不定詞の語尾をとって作る。

finir → fini → je finirai

2) ER 規則動詞: 現在形の je の活用形から作る。

je danse → je danserai

3) 不規則なもの

être → je serai

「単純未来形の語幹の作り方」, 2 番目は ER 規則動詞の場合です。ER 規則動詞の場合も不定詞から作れないわけではないのですが・・・



ER 規則動詞の単純未来形の語幹は現在形の je の活用形から作るのです。



2) ER 規則動詞: 現在形の je の活用形から作る。

danser: je → je  
 acheter: j' → j'

では、acheter 「買う」の単純未来形を作ってみたいと思うのですが、まず、acheter の現在形の活用を見ておきましょう。全ての単数人称と複数三人称の語幹は achèt になります。

 **Check** acheter の現在形の活用

j' e	nous achetons
tu es	vous achetez
il (elle) e	ils (elles) ent


 **Check** appler の現在形の活用

j' e	nous appelons
tu es	vous appelez
il (elle) e	ils (elles) ent

確認練習 : L16-1-1 (自律学習)

確認練習 : L16-1-2 (Exercice1) (自律学習)

「単純未来形の語幹の作り方」の最後は、不規則なものについてです。ここまでは規則を適用することができましたが、今度はそうはいきません。3) 不規則なものは、不定詞や現在形からは作れない、特殊な単純未来形の語幹をもつものです。

 **Check** 3) 不規則なもの

aller → j'                      être → je  
 avoir → j'                    faire → je  
 venir → je                    etc.



それでは、発音してまるごと覚えてしまいましょう。まずは、aller と être の単純未来形です。

 **Check** aller の単純未来形

j'	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

 **Check** être の単純未来形

je	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

確認練習 : L16-1-3 (自律学習)

確認練習 : L16-1-4 (自律学習)

今度は avoir, faire の単純未来形を作ってみましょう。

 **Check** avoir の単純未来形

j'	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

 Check faire の単純未来形

je	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

最後は venir の単純未来形です。発音しながら覚えてしまいましょう。

 Check venir の単純未来形

je	nous
tu	vous
il	ils
elle	elles

確認練習 : L16-1-5 (自律学習)

確認練習 : L16-1-6 (自律学習)

確認練習 : L16-1-7 (自律学習)

確認練習 : L16-1-8 (Exercice2) (自律学習)

確認練習 : L16-1-9 (Exercice3) (自律学習)

## 2. 目的語として用いられる代名詞の併用

次の例文を見てください。

Je présente **Laure** à **Eric**.

→ Je **la lui** présente.

私は彼女を彼に紹介する。

la が直接目的語で、 lui が間接目的語でしたね。このように、直接目的語と間接目的語がいっしょに用いられることを、「代名詞の併用」と呼んでいます

### 1) 併用のできる直接目的語は？

1つ目のポイントは、併用することのできる直接目的語には制限があることです。

 Point

直接目的語と間接目的語をふたつ並べて用いることができるのは、直接目的語が le, la, les の場合だけで、me, te, nous, vous の場合はできません。

- 直接目的語（ le, la, les ） + 間接目的語
- × 直接目的語（ me, te, nous, vous ） + 間接目的語

3 人称の直接目的語（ le, la, les ）しか間接目的の代名詞といっしょに使えない。1, 2 人称の直接目的語（ me, te, nous, vous ）は、間接目的の代名詞といっしょに使えない。さて、次の2つの文、正しいのはどちらでしょうか？

 Check

Je te le présente.

きみに彼を紹介します。

Je te lui présente.

きみを彼（彼女）に紹介します。

直接目的と間接目的の代名詞をふたつ並べて用いる場合、2つ目のポイントは何でしょうか？

## 2) 直接目的語と間接目的語の順序

 Point

間接目的語が me, te, nous, vous の場合と lui, leur の場合とでは、間接目的語と直接目的語の順序が変わるのです。

 Check 目的語として用いられる代名詞の併用

- 1) 間接目的語（                          ） + 直接目的語
- 2) 直接目的語 + 間接目的語（                          ）

 Check ルール 1: 間接目的が me, te, nous, vous の場合

間接目的が me, te, nous, vous の場合は、  
間接目的（                          ） + 直接目的（                          ）

 **ルール 2: 間接目的が lui, leur の場合**

間接目的が lui, leur の場合は、  
直接目的 ( ) + 間接目的 ( )

では、以上のことを例文で具体的に見てみましょう。次の質問に、Eric を代名詞化して Oui で答えると

 **Check**

- Tu me présentes Eric?
- Oui, je présente.

さあ、今度はどうでしょう。次の質問に、同じように Eric を代名詞化して Oui で答えると

 **Check**

- Elle leur présente Eric?
- Oui, elle présente.

確認練習 : L16-2-1 (Exercice 4) (自律学習)

確認練習 : L16-2-2 (自律学習)

**肯定命令文における目的語代名詞の併用**

最後に、命令文で直接目的と間接目的の代名詞を使うときの順序について見ていきましょう。

肯定命令文は、これまで見てきたルールの例外です。直接目的語と間接目的語の順番は、どんな間接目的語であろうと、変化しません。いつも「直接目的語 + 間接目的語」の順番です。

 **肯定命令文**

動詞 + 直接目的語 + 間接目的語

では、具体的に見てみましょう。次の文の tes parents を代名詞化して肯定命令文を作ってみます。



Tu me présentes tes parents.

↓

Présente - moi tes parents.

↓

Présente -     -     .



Tu lui présentes tes parents.

↓

Présente - lui tes parents.

↓

Présente -     -     .

確認練習 : L16-2-3 (自律学習)

確認練習 : L16-2-4 (自律学習)

Exercice Synthétique